

辛酉、丹波國桑田郡無位出雲神奉_レ授_二從五位下、依_二國司解狀_一也、三代實錄、貞觀十四年十一月廿九日乙未、授_二丹波國從四位下、出雲神從四位上、元慶四年六月廿一日癸卯、授_二丹波國從四位上、出雲神正四位下、日本紀略、延喜十年八月廿三日、授_二丹波國出雲大神正四位上、

雜事

東鑑云、壽永三年九月廿日丙午、丹波國一宮出雲社者、蓮華王院御領也、預_二給能盛法師、年來令_二知行、何有_レ稱_二地頭之輩_一哉、年來又不_二聞食及_一、而號_二彼御下文、玉井四郎資重忝押領、其理可_レ然哉、有_レ限御領不可_レ有_二異儀_一事也、早可_レ停_二止件濫行_一之由、令_二下知_一給可_レ宜之由、院御氣色候也、仍執達如_レ件、八月卅日、右衛門權佐、謹上兵衛佐殿、

桑田神社

桑田は久波多と訓べし、和名鈔、部名桑田、假字上の如し、○祭神在所等詳ならず

三宅神社

三宅は美彌氣と訓べし、○祭神三宅連祖歟、○在所詳ならず

類社

伊勢國鈴鹿郡三宅神社の條見合すべし

小川月神社 名神大

小川は乎加波、月は都岐と訓べし、和名鈔、部名小川、假字上の如し、○祭神天月神命、○池尻村に在す、魚鹽
○式三、臨時名神祭二百八十五座、中丹波國小川月神社一座、

類社

山城國綴喜郡樺井月神社の下見合すべし

神位

三代實錄、貞觀元年正月廿七日甲申、奉_レ授_二丹波國從五位下、小川月神從五位上、

三縣神社

三縣は美阿賀多と訓べし、○祭神在所等詳ならず

神野神社

神野は加美乃と訓べし、○祭神伊可古夜日女命、○宮傍村に在す、啓○頭注云、賀茂建角身命、啓伊賀古彌日賣命也、玉依彥玉依姬母也、玉依姬鳴御祖神也、玉依彥可茂縣主等遠祖也、○當國水上郡神野神社もあり

山國神社

山國は夜万久爾と訓べし、和名鈔、部名山國、○祭神詳ならず、○山國郷島居村に在す

阿多古神社

阿多古は假字也、○祭神伊弉册尊、火産靈尊、○愛宕山頂朝日峯に在す、丹波山城兩國堺也、一拾芥抄云、愛宕護、在_二山城國葛野郡_一、○葦原卜定記云、成亥仁當天、王都守護神明坐す、即天神第七陰神也、火災於永久退平爲也止天、若宮仁和火産靈於置玉奈利、偏仁帝都靜謐乃基也、○日本紀、神代上一書曰、伊弉册尊生_二火産靈_一、○神祇拾遺云、當社久代平安城北鷹峯東隣也、光仁天

啓蒙ニ里談
ニ據テ本條
ヲカタルハ信
カタシ